

(公社)神奈川県理学療法士会 災害対策委員会  
横浜南部・西部ブロック災害対策キャラバンが開催されました。

西澤 茂子

去る平成 31 年 1 月 22 日(火)横浜市大付属市民総合医療センターにおきまして横浜南部・西部ブロック災害対策キャラバンが開催されました。

災害対策キャラバンも今回で 10 回目の開催となりました。「横浜南部・西部ブロックにおける災害時支援体制と防災・減災対策からリハビリテーションとの連携や役割について検討する」をテーマに横浜市より吉元景氏(横浜市医療局医療政策課 救急・災害医療担当係長)、瀬戸晶子氏(横浜市健康福祉局地域福祉保健部係長)、荒川英樹氏(横浜市大医学部 リハビリテーション科学教室 医師)よりお話しいただきました。吉元氏からは、災害医療の基本から横浜市の防災計画について、また災害の備えとして、「関心を持つこと、自宅の安全対策や食糧の備蓄など自分自身が対応すること、組織として個人として災害との関わり合いを考えること」が必要とのお話しがありました。瀬戸氏からは平時の保健師の役割や業務内容の紹介から、災害発生時の保健活動の実際について、平成 28 年の熊本地震や平成 30 年 7 月の豪雨災害等での支援活動の様子についてお話しをいただきました。避難所での健康相談や衛生管理と予防、仮設住宅の訪問や健康教育などの実際の活動を写真も交えてお話しをいただきました。JRAT としても活動されている荒川氏からは、JRAT の活動時期と役割について、リハビリテーショントリアージから生活不活発病予防、健康支援など災害のフェーズに合わせたリハビリテーション支援について、また実際の支援現場で保健師と情報共有を行いながらの活動について等、写真を踏まえながらお話しをいただきました。

横浜南部ブロック長上杉上氏、エリアコーディネーターの藤浦達氏、横浜西部ブロック長三富佑哉氏、エリアコーディネーター佐藤洋平氏、会場の提供から準備のご協力をいただきました横浜市大付属市民総合医療センターの皆さま、本当にありがとうございました。2 月に開催される川崎南部ブロックキャラバンが終了すると、本会独自に編成している二次医療圏域プラス 1 の県内 12 ブロック、すべてのブロックにて災害対策キャラバンを開催したという事になります。今後も継続した取り組みとして「地域防災」をキーワードにしたブロック活動を活性化していきたいと考えています。皆様のご参加お待ちしております。

